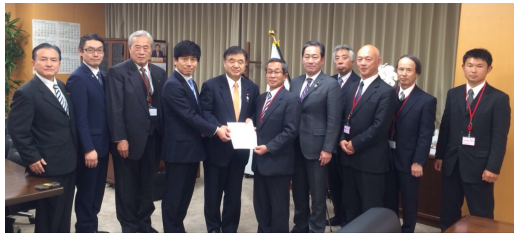


http://nakayashiki.net/ **がんばる日本! 負けないで東北!**



3月10日原口市長さんや地元鴻巣の花弁に携わる皆さんと遠藤東京オリンピック・パラリンピック担当大臣に、2020年東京オリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ2019で地元鴻巣の「花」で世界中の人々をおもてなしをするという要望活動に行きまして。

平成28年も、早くも4月を迎えました。子供達の旅立ち(出発)の季節は、私の今任期を1年経過する時期です。報告にもあるように、自民党県議団が議会に独自提案させていただいた、「埼玉県障害のある人もない人も安心して暮らしていける共生社会づくり条例」のある人もない人も安心して暮らしていける共生社会づくり条例」と「埼玉県手話言語条例」の作成段階に、地元の意見をお聞きしつつ加われたことは、自民党への所属なしには成しえなかったことです。今後もしこうしたチャンスに積極的に係れるように頑張って参ります。

チャレンジ通信

埼玉県議会自由民主党議員団

なかやしき慎一

卯月に思う

県議会2月定例会

過去最大規模の予算(施策)で **埼玉県を元気に!!**

地方創生戦略で自民修正案を提案・可決

県議会2月定例会は、1兆8,805億2,600万円の平成28年度一般会計(当初)予算を議決しました。

自民党県議団は、県が提案していた「まち・ひと・しごと創生総合戦略案」に対して、47カ所の変更・追加を加えた修正案を提出、賛成多数で可決しました。

修正では目標値をより明確化するため、合計特殊出生率を「30年に1.78」に引き上げるとした原案に対し、総合戦略の計画期間の最終年である「19年に1.44」とする目標値などを追加。さらに、それぞれの施策の目標達成に責任を持つ管理者を置き、知事に県議会への達成状況の報告を義務づけています。状況によっては施策の見直しを求めることができる仕組みも盛り込み、施策推進に対する責任を明らかにし、より効果的な取り組みが継続される総合戦略となりました。

さらに自民党県議団が提案した、「**埼玉県障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしていける共生社会づくり条例**」「**埼玉県手話言語条例**」を採択することができました。

自民党県議団は、埼玉から日本を元気にする施策を今後も提案して参ります。

討議資料



発行所 埼玉県議会議員 中屋敷慎一
〒365-0039 鴻巣市東3-11-18-103号
TEL 048-541-8110 FAX 048-541-0256

Vol. 34

自民県議団が独自提案...弱者をつくらない社会を

「**埼玉県障害のある人もない人も全ての人が安心して暮らしていける共生社会づくり条例**」「**埼玉県手話言語条例**」を採択

平成28年4月1日より障害者差別解消法が施行されます。県議会自民党議員団は同法の施行に先立ち、障害者と障害者でない方が分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら、地域の中で共に手を取り合って暮らすことのできる共生社会の推進を目指すべく、また、ろう者とろう者以外の者が共生することのできる地域社会を推進すべく、プロジェクトチームを立ち上げ各条例の制定について検討して参りました。

同条例の提案の前には、広く県民の意見を伺うためパブリックコメントの募集も実施(平成27年12月16日~平成28年1月15日)。貴重なご意見を参考に、県議会に提案させていただき、賛成多数で議決することができました。

